

授業科目名	自然環境保全論		担当教員名	河本 大地		
科目区分	単位	配当年次	実施時期	曜日・時限	形態	
学部共通専門科目	選択	2	1～3	春・秋学期	(春学期) 火・3	講義
					(秋学期) 金・3	
授業概要						
<p>人間は、自然の中で生かされています。したがって、自然環境について少しでも理解しておくことが大事です。本科目では、人間の活動と自然環境との関わりをグローバルからローカルまでのさまざまなスケールでとらえ、持続可能な資源利用や環境保全のあり方を考えます。</p>						
到達目標						
<p>自然環境の保全に関する基本的事項について理解し説明できるようになる。</p>						
授業方法(展開)						
<p>講義、エクスカージョン(学外実習)を組み合わせ実施します。エクスカージョンでは、さまざまな形態の森林を中心に訪ねます。五感をフルに使って自然環境保全の現場を理解しましょう。</p>						
関連科目・知識・スキル						
<p>「自然地理学」、「NPO・NGO 論」、環境・グリーンツーリズム分野の科目 (3年次～) など</p>						
成績評価						
<p>☆成績評価はポイント制です。</p> <p>☆基本的には、各回の課題で評価します。最終試験を行わない分、そちらはややハードです。</p> <p>☆時々、ノートや配付資料へのメモの充実度をチェックしたり、発表をさせたりします。また、授業内容に関連するセミナー、イベント等への参加を奨励します。これらもポイントに加算します。</p>						
教科書・参考書など						
<p>資料は担当教員が用意し、参考書を随時紹介します。</p>						
履修上の注意事項						
<p>☆自然環境は、頭だけでは理解できません。この科目では体験・実感を重視します。現場を五感で体感するエクスカージョンに必ず参加してください(計1万2千円ほどかかります)。</p> <p>不参加の場合は、自分で自然環境保全の活動を探して参加し、成果を報告してもらいます。</p> <p>☆上記を充実させるため、履修者は25名を上限とします(面接であなたのやる気の評価の可能性あり)。</p> <p>☆ノートパソコンと世界・日本地図帳を毎回必ず持参すること。</p>						

授業の柱(単元)と授業スケジュール

□地球環境保全をめぐる動向 (4回)

- ★環境とサステナビリティ (持続可能性) のとらえ方
…持続可能な開発、生物多様性、エネルギー問題など、キーとなる概念や取り組みとそれらの背景
- ★グローバルな気候変動 …京都議定書、映画『不都合な真実』、その後の動き
- ★世界の食料問題と地球環境
…エコロジカル・フットプリント、食料供給のエネルギー効率など
- ★世界と日本の水環境問題

□里山の利用と管理 (5回分)

- …うち1回は、神戸市周辺での森林ボランティア体験等のエクスカージョン (1日)
- ★農山村地域・多自然地域における景観・土地利用の変化
- ★農業の多面的機能、森林の多面的機能、生態系サービス、河川・ため池の環境管理
- ★野生動物の管理と保護
…イノシシ、ツキノワグマ、ニホンザル、エゾシカ、アライグマ、メダカ etc.
- ★エコツーリズムとグリーンツーリズム

□原生自然の保護と人工林の利用・管理と山の暮らし (3回分)

- …うち2回分は、奈良県川上村エコツアー (1泊2日)
- …「森と水の源流館」のインタープリター等の案内で、吉野林業や原生林、山村地域を五感で味わう

□世界の多様な自然環境と国立公園・自然保護区・世界自然遺産 (3回)

- ★地圏・水圏・気圏と世界の植生帯
- ★熱帯林・湿地・北方林・高山帯などの保護・保全
- ★自然公園制度の展開過程、エリア設定・管理手法

学生への一言

- ☆エクスカージョン先や参加者の状況により、一部の内容が変わる可能性がある。
- ☆授業前には深呼吸し、トイレはすませ、のびのびとした気持ちで積極的に参加しよう。
- ☆ノートをしっかりとること。授業中は携帯を出さないこと。遅刻・早退厳禁。質問はいつでも歓迎！